

座標平面上で、放物線 $C: y = ax^2 + bx + c$ が2点 $P(\cos \theta, \sin \theta)$, $Q(-\cos \theta, \sin \theta)$ を通り、点 P と点 Q のそれぞれにおいて円 $x^2 + y^2 = 1$ と共通の接線を持っている。ただし、 $0^\circ < \theta < 90^\circ$ とする。

- (1) a, b, c を $s = \sin \theta$ を用いて表せ。
- (2) 放物線 C と x 軸で囲まれた図形の面積 A を s を用いて表せ。
- (3) $A \geq \sqrt{3}$ を示せ。

(24 東京大 文 1)

【答】

$$(1) a = -\frac{1}{2s}, b = 0, c = \frac{1+s^2}{2s}$$

$$(2) A = \frac{2}{3s}(1+s^2)^{\frac{3}{2}}$$

(3) 略

【解答】

$$C: y = ax^2 + bx + c$$

(1) C が $P(\cos \theta, \sin \theta)$, $Q(-\cos \theta, \sin \theta)$ を通るから

$$(*) \begin{cases} \sin \theta = a \cos^2 \theta + b \cos \theta + c & \cdots \cdots \textcircled{1} \\ \sin \theta = a \cos^2 \theta - b \cos \theta + c & \cdots \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

$$\Leftrightarrow \begin{cases} \textcircled{1} + \textcircled{2}: 2 \sin \theta = 2a \cos^2 \theta + 2c \\ \textcircled{1} - \textcircled{2}: 0 = 2b \cos \theta \end{cases}$$

$0^\circ < \theta < 90^\circ$ より $\cos \theta \neq 0$ である。また、 $s = \sin \theta$ とおくと

$$(*) \Leftrightarrow \begin{cases} c = s - a(1 - s^2) \\ \mathbf{b = 0} \end{cases} \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

となる。

このとき $y = ax^2 + c$ であり、 $y' = 2ax$ であるから、 P における C の接線の傾きは $2a \cos \theta$ である。 C と円 $x^2 + y^2 = 1$ は P において共通の接線を持っているから、 P における C の接線と直線 OP は直交する。

$$2a \cos \theta \cdot \tan \theta = -1$$

$$\therefore a = -\frac{1}{2a \sin \theta} = -\frac{1}{2s}$$

同じく、 Q における C の接線と直線 OP も直交するから

$$2a(-\cos \theta) \cdot \tan(\pi - \theta) = -1$$

$$\therefore a = -\frac{1}{2a \sin \theta} = -\frac{1}{2s}$$

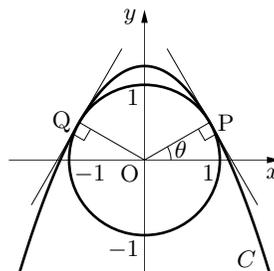
であり

$$\mathbf{a = -\frac{1}{2s}} \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

である。したがって

$$\mathbf{c = s + \frac{1}{2s}(1 - s^2) = \frac{1 + s^2}{2s}} \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

である。



(2) (1) より

$$C: y = -\frac{1}{2s}x^2 + \frac{1+s^2}{2s}$$

であり、 C と x 軸の交点の x 座標は $x = \pm\sqrt{1+s^2}$ である。 C と x 軸で囲まれた図形の面積 A は

$$\begin{aligned} A &= \int_{-\sqrt{1+s^2}}^{\sqrt{1+s^2}} -\frac{1}{2s}(x + \sqrt{1+s^2})(x - \sqrt{1+s^2}) dx \\ &= \frac{1}{2s} \cdot \frac{1}{6} (2\sqrt{1+s^2})^3 \\ &= \frac{2}{3s} (1+s^2)^{\frac{3}{2}} \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(3) $s > 0$ ($0 < s < 1$) より $A = \frac{2}{3} \sqrt{\frac{(1+s^2)^3}{s^2}}$ である。 $t = s^2$ ($0 < t < 1$) とおき、示すべき不等式を同値変形すると

$$A \geq \sqrt{3} \iff \frac{2}{3} \sqrt{\frac{(1+t)^3}{t}} \geq \sqrt{3} \iff 4(1+t)^3 \geq 27t$$

となる。ここで

$$\begin{aligned} 4(1+t)^3 - 27t &= 4t^3 + 12t^2 - 15t + 4 \\ &= (t+4)(4t^2 - 4t + 1) \\ &= (t+4)(2t-1)^2 \\ &\geq 0 \quad (\because 0 < t < 1) \end{aligned}$$

等号が成立するのは $t = \frac{1}{2}$ のときである。

よって、 $A \geq \sqrt{3}$ が成り立ち、 $s = \frac{1}{\sqrt{2}}$ のとき、等号が成立する。……(証明終わり)

- 因数分解に気づかないときは、 $y = 4t^3 + 12t^2 - 15t + 4$ を微分して $0 < t < 1$ での増減を調べてもよい。
- 相加平均・相乗平均の関係を利用することもできる。

$$\begin{aligned} A &= \frac{2}{3} \sqrt{\frac{(1+t)^3}{t}} = \frac{2}{3} \left(\frac{1+t}{t^{\frac{1}{3}}} \right)^{\frac{3}{2}} \\ &= \frac{2}{3} \left(\frac{1}{2t^{\frac{1}{3}}} + \frac{1}{2t^{\frac{1}{3}}} + t^{\frac{2}{3}} \right)^{\frac{3}{2}} \\ &\geq \frac{2}{3} \left(3 \sqrt[3]{\frac{1}{2t^{\frac{1}{3}}} \cdot \frac{1}{2t^{\frac{1}{3}}} \cdot t^{\frac{2}{3}}} \right)^{\frac{3}{2}} \quad (\because 3 \text{ 文字の相加平均} \cdot \text{相乗平均の関係}) \\ &= \frac{2}{3} \cdot 3^{\frac{3}{2}} \left(\frac{1}{4} \right)^{\frac{1}{2}} \\ &= \sqrt{3} \end{aligned}$$

等号は $\frac{1}{2t^{\frac{1}{3}}} = t^{\frac{2}{3}}$ すなわち $t = \frac{1}{2}$ のとき成り立つ。

- A のとりうる値の範囲を調べてもよい。
 $t = s^2$ ($0 < s < 1$) とおくと

$$A = \frac{2}{3} \sqrt{\frac{(1+t)^3}{t}} \quad (0 < t < 1)$$

であるから、 $k = \frac{(1+t)^3}{t}$ ($0 < t < 1$) のとりうる値の範囲を求める。

分数関数の微分は数学 III の範囲となるので、次のように考える。

$t \neq 0$ ($0 < t < 1$) であるから

$$k = \frac{(1+t)^3}{t} \iff kt = (1+t)^3$$

であり, $y = kt$ と $y = (1+t)^3$ が $0 < t < 1$ の範囲で共有点をもつための k の条件を求め.

$$y' = 3(1+t)^2$$

であり, $y = (1+t)^3$ 上の点 $(p, (1+p)^3)$ における接線の方程式は

$$y = 3(1+p)^2(x-p) + (1+p)^3$$

である. これが原点 $(0, 0)$ を通るとき

$$0 = 3(1+p)^2(-p) + (1+p)^3$$

$$\therefore (1+p)^2(1-2p) = 0$$

$$\therefore p = -1, \frac{1}{2}$$

$p = \frac{1}{2}$ のとき

$$k = 3\left(1 + \frac{1}{2}\right)^2 = 3\left(\frac{3}{2}\right)^2$$

であり, $0 < t < 1$ のとき k は

$$3\left(\frac{3}{2}\right)^2 \text{ 以上のすべての実数をとる}$$

から, A のとりうる値の範囲は

$$\frac{2}{3}\sqrt{3\left(\frac{3}{2}\right)^2} = \sqrt{3} \text{ 以上のすべての実数}$$

である. よって

$$A \geq \sqrt{3}$$

が示された.

